

3・4年「恐ろしい自然災害」

	書名	著者名	出版社	内容
1	津波！！命を救った稲むらの火	小泉八雲 原作 高村忠範 文・絵	汐文社	人を驚かすような地震ではなかったが、海を見た五兵衛はある事を思い出し、急いで稲むらに火をつけてまわった。江戸時代の和歌山藩広村で、津波から村人を救った五兵衛の活躍を描く。
2	奇跡の一本松 大津波をのりこえて	なかだえり 絵・文	汐文社	2011年3月11日、津波に襲われた岩手県陸前高田市の高田松原で、7万本もの松が流された中、たった1本残った「奇跡の一本松」が人々を励ましている。松原の歴史、何度も襲った津波、復興を紹介。
3	ふるさとはフクシマ 子どもたちの3.11	NPO法人 元気になろう 福島 編	文研出版	地震、津波、原発事故、避難生活。福島の子ども達、被災した体験を見つめた作文と、絵本作家や画家が、作文から受けた想いを表した絵とを紹介。
4	こどものための 防災教室 身の守り方がわかる本	今泉マユ子 著	理論社	地震、台風、大雨、土砂災害……。もしもの時の基本的な身の守り方を、イラストでわかりやすく紹介。非難のタイミングや服装についての知識、注意点もまとめてある。
5	はしれ さんてつ、きぼうをのせて	国松俊英 文 間瀬なおかた 絵	WAVE出版	「今は前へ向かって進むんだ。列車を走らせるためにみんなで一つになろう」東日本大震災で大きな被害を受けた三陸鉄道北リアス線。その復旧を支えた人々を描く物語。
6	それでも、海へ 陸前高田に生きる	安田菜津紀 写真・文	ポプラ社	「じいちゃんがとってきたお魚をもう一回食べたい。」孫の一言に背中を押され、漁師は再び海に出た。一人の漁師が、孫と海への愛を力に変えて、失ったものを取り戻す小さな戦いの記録。